

ボランティア活動時の適切な応急手当を学ぶ
救命講習会



AEDの使い方を学ぶ受講者の方々

町健康福祉課と社会福祉協議会では、町ふれあいセンターで4月13日、ニュータウンふくしプラザなどで活動するボランティアの方々を対象にした救命講習会を開催し、18人が講習を受けました。

受講者は、実技を通して心肺蘇生法やAEDの使用方法などの応急手当をひとつひとつ確認しながら学んでいました。受講した方々は「応急手当が必要な場面になったら、今日学んだことが落ち



着いてできるよう、まずは慌てないようにしたいです」と抱負を語っていました。

西入間広域消防組合鳩山分署の神山 和之署長は「応急手当が必要な場面に居合わせたら、これからは誰かがやるのではなく、自分たちが助けるんだという気持ちで勇気を持って臨んでほしい」と話し、応急手当の練習の反復・継続の必要性を指導していました。

希望を胸に 学校生活をスタート

**町内の小・中学校で入学式
幼稚園で入園式**



初めてのホームルームは緊張ぎみ（鳩山小学校）

町内小・中学校で4月8日、入学式が行われ、真新しいランドセルを背負った児童や、学生服に身を包んだ生徒が、勉強や部活動など様々な期待と希望を胸に登校し、学校生活をスタートさせました。

本年度は、亀井小学校で13人、今宿小学校で28人、鳩山小学校で37人、鳩山中学校で113人が新たに入学しました。

鳩山小学校では、青木 秀二校長が「学校生活での三つの約束『明るく大きな声であいさつと返事をしましょう』『人の話をしっかりと聞きましょう』『元気よく外遊びをしましょう』』と話し、やさしく、かしこく、たくましく学校生活を送るよう新一年生に呼びかけました。式後は各教室で担任から学校生活の説明を受けたり、記念品などをうれしそうにランドセルに入れていました。

4月9日には、鳩山幼稚園に20人の新園児たちが入園しました。入園式では、小林 秀子園長らの呼びかけに元気いっぱい「はい」と手を挙げて答えていました。式後、はじめてのクラスで大きな声で歌を歌ったりお遊戯を楽しみました。



名札を受け取り喜びいっぱい（鳩山幼稚園）

ミドル・団塊の世代が輝く はとやま大人バンドステージ Vol.Ⅲ



「スウィング ストリングス」



「Hatoyama heartbeat band」

団塊の世代やミドル世代を中心としたアマチュアバンドが演奏する「はとやま大人バンドステージ Vol.Ⅲ」が3月31日、町文化会館で開催され、出場したアマチュアバンド5組がエレキギターの音色やビートルズなど懐かしのメロディーを会場に響かせました。

今回で3回目となるはとやま大人バンドステージ。ステージでは、「スウィング ストリングス」^{ミュージックメイツ}「Music Mates」^{ハトヤマハートビートバンド}「ウッズ・アンド・ウォーター」^{ハトヤマハートビートバンド}「ステージア」^{ハトヤマハートビートバンド}「Hatoyama heartbeat band」の5組が、力強く個性あふれる演奏を披露。出場したバンド同士と一緒に歌ったり、演奏する場面もあり、会場を沸かせていました。

来場された方は、「昔懐かしいメロディーを聴き、久しぶりに青春時代を思い出しました」「若い世代とは違った円熟の演奏に感動しました」など話していました。

愉快的人形劇 約70人の親子が楽しむ つどいの広場(ぽっぽ)



巧みに人形を操る人形劇団P U K

町ふれあいセンターで4月13日、子育て中の親子を対象にした人形劇が開催され、保護者や子どもたち約70人が楽しみました。人形劇は、町から多世代活動交流センター内つどいの広場(ぽっぽ)の運営を委託された山村学園短期大学が開催。子どもたちは、大人と同じ大きさの人形にびっくりしたり、音楽に合わせた愛らしい動きや台詞に笑い声や歓声を上げていました。

202人が参加して 熱戦を繰り広げた グラウンドゴルフ大会 個人戦



ホールポストめがけてボールを打つ選手

鳩山町体育協会主催のグラウンドゴルフ大会(個人戦)が4月13日、亀井運動場で開催されました。大会には202人が参加し、32組に分かれ合計打数を競い合いました。

この大会の成績上位12人には、町の代表として、5月18日に吉見町で開催される比企地区グラウンドゴルフ大会の出場権が与えられるため、参加された皆さんは、真剣な表情でホールポストに向かって狙いを定め、スイングに強弱をつけていました。